

クイック スタート ガイド

Microsoft Visio 2013 は、外観がこれまでのバージョンと変わっています。このガイドは、少しでも早く慣れることができるようにそれらの違いをまとめたものです。

更新されたテンプレート

テンプレートを利用して目的の種類の図面を作成できます。これらは [ファイル] タブで選ぶことができます。よく使われるテンプレートはカテゴリ別に色分けされています。目的のテンプレートが見つからない場合は検索することもできます。

外観やデザインをカスタマイズする

テーマや調和のとれた色を適用して図面の外観を調整できます。これらは [デザイン] タブで選ぶことができます。

コメントを追加する

図形にコメントを追加したり、他のユーザーのコメントに対する返答を入力したりできます。これを行うには、図面でコメント インジケータををクリックするか、[校閲] タブを使います。

クイックアクセス ツール バー

これらのコマンドは常に表示されます。リボン コマンドを右クリックして追加できます。

図形を探す

図形が見つからないときは、[図形] ウィンドウで [検索] をクリックします。

特殊な図形

テンプレートには特殊な図形を集めたステンシルが付属しています。その他の図形オプション用にステンシルを追加することができます。

リボンの表示と非表示を切り替える

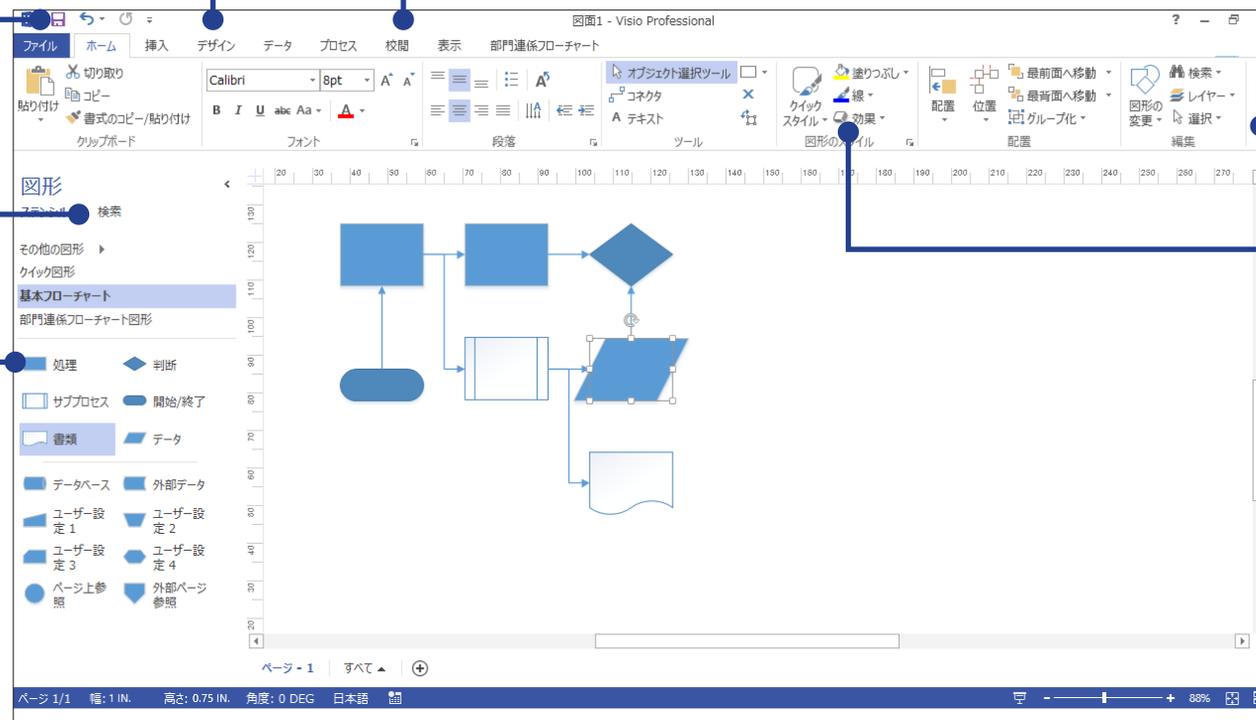
タブをクリックしてリボンを開くか、常に表示されるように固定できます。

図形の効果

図形に影、グラデーション、3-D 回転などの効果を適用できます。

タッチ コントロールを使う

タブレットなどのタッチ デバイスでは、図面の確認や編集をタッチ操作で行うことができます。図形の追加や移動、ピンチやズーム、コメントやテキストの追加などに対応しています。



すぐに作業を始める

Visio には多数のテンプレートが用意されており、組織図から、ネットワーク図、フロア プラン、配線図、ワークフローに至るまで、ほぼすべての種類の図面の作業をすぐに始めることができます。



各テンプレートには、図面の種類に関連する図形がステンシルという特殊なセットにまとめられています。図面の端の [図形] ウィンドウに、作業中の図面の種類に応じて、よく使われるステンシルや図形が表示されます。

作業を始めるには、[図形] ウィンドウから図面に図形をドラッグします。

本格的な図面を作成する

わずか数回のクリックで、図面を本格的で魅力的なものに変えることができます。テーマを使って調和のとれた色を適用したり、色のバリエーションをカスタマイズしたりできます。どちらのギャラリーも [デザイン] タブにあります。

ギャラリーの各オプションの上にポインターを合わせると、それらが適用された図面の状態をプレビューすることができます。



図形にその他の視覚効果を追加することもできます。Visio でも、他の Office プログラムで追加できる効果 (塗りつぶしの色、影、グラデーション、3-D 効果など) を図形に適用できるようになりました。これは [ホーム] タブの [図形のスタイル] で行います。



よく使う項目

次の表は、Visio のよく使うツールとコマンドをまとめたものです。

目的	タブ	グループ
図面を作成する、開く、保存する、印刷する、共有する、Visio の動作を調整する	[ファイル]	[新規]、[開く]、[上書き保存]、[名前を付けて保存]、[共有]、[エクスポート]、[オプション]
テキストを追加または編集する、図形にスタイルを適用する、図面を配置または調整する	[ホーム]	[フォント]、[段落]、[図形のスタイル]、[配置]
図、CAD 図面、テキスト ボックス、コンテナ、コネクタを追加する	[挿入]	[図]、[図面パーツ]、[テキスト]
図面に本格的な配色パターンを適用する、背景を追加する	[デザイン]	[テーマ]、[バリエーション]、[背景]
スペル チェックを行う、コメントを追加する、コメントに返答する	[校閲]	[文章校正]、[コメント]
枠線とガイドを表示する、[図形データ] ウィンドウを表示する	[表示]	[表示]、[視覚補助]

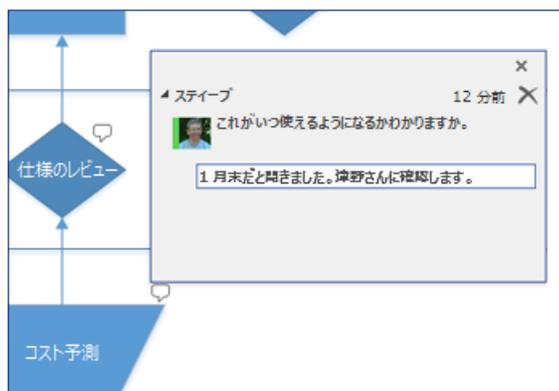
チームで図面の作業を行う

図面を SharePoint に保存すると、複数のチームメンバーが同時に作業を行うことができます。他のメンバーが図面のどの部分の作業を行っているかがわかるようになっており、変更を行うとすべてのメンバーに通知されます。

また、図面を SharePoint または Office 365 で共有すると、Visio をインストールしていないメンバーも Web ブラウザーで図面を表示してコメントを追加できます。

コメントとフィードバックを共有する

Visio のコメント機能が強化され、コメントの追加とコメントへの返答を Visio またはオンライン (Visio Services を使用) で行えるようになりました。

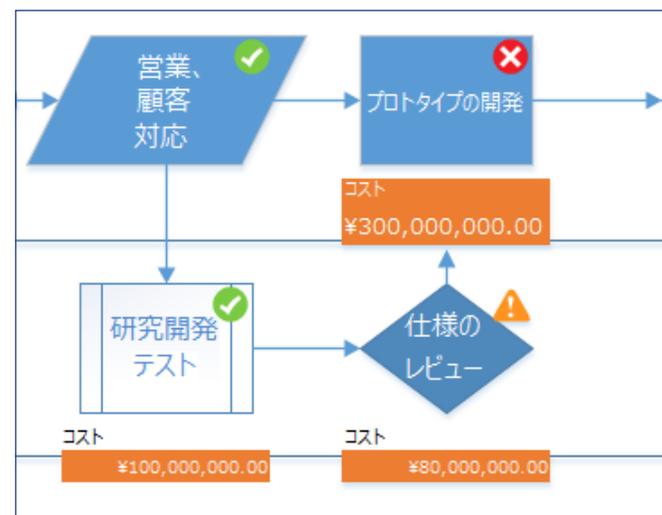


コメントしたユーザーがオンラインであるかどうかを確認することができ、Lync 2013 がインストールされている場合は、メッセージング機能を使って Visio でその相手と会話することもできます。

Visio でデータを視覚化する

図面の図形をリアルタイム データに接続して、複雑なデータを見やすくわかりやすいものにすることができます。Excel、Access、SQL Server、SharePoint など、一般的なビジネス データ ソースにリンクし、ソース データの変更に合わせて図形のデータが自動的に更新されるように設定できます。

また、データの内容がすぐわかるように、色、アイコン、記号、グラフを図形に関連付けることもできます。



データが変更されるとグラフィックも自動的に更新されます。これにより、データのパターンが一目でわかります。

Visio 2013 を持っていないユーザーとやり取りする方法

以前のバージョンの Visio を使っているユーザーとファイルを共有したりやり取りしたりする場合は、いくつかの点に注意が必要です。

Visio 2013 での操作	結果	対処法
Visio 2010 で作成されたドキュメントを開く	ファイルが互換モードで開き、以前のバージョンで問題の原因になる Visio 2013 の機能が無効になります。	ファイルを以前のバージョンで表示する予定がなければ、Visio 2013 の図面として保存します。また、[ファイル]、[情報]、[変換] の順にクリックして変換することもできます。このコマンドが表示されない場合は、ファイルを変換する必要はありません。
ドキュメントを Visio 2013 ファイルとして保存する	ファイルを開いたり保存したりする際に互換性の問題は生じません。ただし、Visio 2013 のファイル形式には Visio 2010 以前のバージョンとの互換性がないため、以前のバージョンの Visio を使っているユーザーはファイルを開けなくなります。	以前のバージョンの Visio で図面を開く可能性がある場合は、以前のファイル形式で保存します。[ファイル]、[名前を付けて保存] の順にクリックします。次に、保存先を選び、[ファイルの種類] ボックスの一覧で [Visio 2003-2010 図面] を選びます。
ドキュメントを Visio 2010 ファイルとして保存する	図面を以前の形式で保存しようとする、互換性チェックが表示され、潜在的な問題の一覧が示されます。これは、通常、以前のバージョンで利用できない Visio 2013 の機能が図面に含まれていることを示します。	互換性チェックでは、以前のバージョンで保存した場合に図面に対して行われる変更内容の説明が表示されます。それらの変更を行わない場合は、[名前を付けて保存] を取り消します。それ以外の場合は、Visio 2013 で自動的に変更が行われ、保存が完了すると変更後の図面が表示されます。